

ひろしまの森づくり事業（交付金事業）推進の考え方（第3期：H29～H34）

市町名：江田島市

1 要旨

江田島市の森づくり事業（交付金事業）を実施するにあたって、「ひろしまの森づくり事業に関する推進方針」を踏まえ、江田島市の里山林を取り巻く現状と課題を念頭に第3期の推進方針を定め、これに基づいて森林の持つ公益的機能を持続的に発揮できる取り組みを行うこととする。

2 里山林の現状と目指す姿

区分	現状	課題	目指す里山林の姿	取組む内容
景観保全林	江田島市では、林業関係の仕事も無く、年々、放置森林が増加傾向にある。	山間部では里山林の手入れ不足が深刻となっており、景観の悪化が生じている。	森林を市民共有の財産として守り育て、次世代に引き継いでいく必要がある。	特に手入れの必要な箇所において、放置森林の整備を行い、景観保全を図る。

※区分は市町が森づくり事業に取り組む方針により選択して記載すること。

3 森林を守り育てるための取り組み

区分	現状と課題	目指す姿	取組む内容	
森林を守り育てる体制	森林整備を行う者 (森林ボランティア団体) (住民団体等) (小規模林業経営者) ※主体別に記入 森林整備を助ける体制 (森林資源の継続的利用)	<ul style="list-style-type: none"> ・森づくり事業を活用するボランティア団体は財務基盤等が脆弱であるため、引き続き森づくり事業を活用して活動を継続したい旨の要望である。【森林ボランティア団体数:2団体】 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民によって組織されたNPO沖美町地域再生会議が主体となり、沖美地区で眺めの妨げになっている樹木や歩道などを整備する。【里山保全活用支援事業】 ・森林・林業に対する理解と森づくりへの積極的な参加を図るため、古鷹山地区の学校林を活用し、森林・林業体験活動を行う。【森林・林業体験活動支援事業】 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全活用支援事業や森林・林業体験活動支援事業を活用し、ボランティア団体活動の維持と組織の活性化を図り次世代に活動を引き継いでいく。
取組への理解促進	住民への説明 参加拡大による理解促進 事業の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしまの森づくり県民税による事業が、どのように展開され、どのような効果に資しているか周知できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が森づくり県民税の用途や効果、実績を理解している。 ・市民が欲している、森林・林業に関するイベントや活動などの情報がタイムリーに入手できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県と連携し、市広報誌を活用し事業の実績や効果を市民に広く発信する。 ・自治会長会議や地区懇談会などを通じて事業内容や実績を提供する。 ・事業実施箇所については、森づくり事業で整備した旨の看板等を設置する。